

平成21年度事業報告書

I. はじめに

平成21年度は、世界的な景気の低迷に加え、円高やデフレ等の影響により、アミューズメント産業を取りまく環境が極めて厳しい中、当協会の事業活動として、社会的に関心が高まりつつある製品の安全問題、電子マネーシステムの実証実験、規制緩和に向けた検討、政府による中小企業緊急保証制度の業種指定、並びにアミューズメントマシンショーの開催や、業界の共通課題に関する各種の取り組みを行い、業界の発展に寄与した。

II. 平成21年度事業報告

1. アミューズメントマシン産業に関する調査研究事業

(1) 電子マネーシステムの構築に関する調査研究

(ITネットワーク特別委員会・J A I A技術委員会)

アミューズメント業界における電子マネーシステム導入の可能性を探るため、ITネットワーク特別委員会(委員長:木村雅三)において、日本アミューズメント産業協会(J A I A)技術委員会との共同事業として、平成21年4月から平成22年3月までの1年間、会員企業の協力により、実際の店舗において電子マネーシステムの稼働実験を実施した。

実験に協力頂いたのは下記の4店舗

○株式会社総商

実施店舗: ユーワールド豊明(愛知県豊明市)

店舗面積: 約650㎡

端末台数: 130台

○株式会社バンダイナムコゲームス

実施店舗: プレイシティキャロット巣鴨店(東京都豊島区)

店舗面積: 約490㎡

端末台数: 159台

○株式会社カプコン

実施店舗: プラサカプコン土浦店(茨城県土浦市)

店舗面積：約1,380㎡

端末台数：112台

○テクモ株式会社

実施店舗：てくもぴあゆうらく工房店（栃木県宇都宮市）

店舗面積：約270㎡

端末台数：136台

実証実験は、顧客動向調査として、電子マネーによるプレイ回数の変動や、顧客IDによる利用分析、機種別の利用傾向調査などを実施したほか、プレイ料金の変更による動向調査等を実施した。

また、各店舗においてユーザーを対象に、電子マネーに関する意識調査を実施したほか、電子マネーの認知度向上と利用促進のためイベントも実施した。

さらに、今回実験に使用した電子マネーシステムについて、導入後の省力化、使い勝手やコスト、また取付端末やシステム全体に対する評価の検証を行った。

(2) 景品提供営業のあり方についての調査研究 (AMプライズ部会)

AMプライズ部会（部会長：佐藤隼夫）では、これまでJAMMAとAOUで別々に制定していた景品提供営業に関する自主基準の統一に着手し、AOU健全営業推進委員会との合同会議を開催するなどして、基準の一本化に向けた意見のすり合わせを行った。

なお、自主基準の統一作業と並行して、業界独自の「適正景品マーク制度」の導入に向けた調査研究も行い、平成22年度に継続して審議することとなった。

また、営業の適正化に関し、適正な景品の製造販売を定めた「アミューズメントマシンにおいて提供される適正景品のガイドライン」について啓蒙パンフレットをAMショー等で配布する等の啓蒙活動を実施し、景品提供営業の適正化を推進した。

このほか、エンドユーザー向けのプロモーション活動としてJAI A主催の第5回クレーンゲーム選手権の開催に協力しエンドユーザーの裾野拡大に努めたほか、平成21年度に制作協力した晋遊社発行のムック本「クレーンゲーム攻略必勝本」が発行され、好評を博した。

(3) AM機のリサイクルシステム構築に関する調査研究 (3R部会)

3R部会（部会長：内田慎一）において、アミューズメント業界における適切なリサイクルシステム構築のため、次の事業を実施した。

- ①平成21年7月28日付けで、「知らなかったではすみません！アミューズメントマシンの適正処理・リサイクルのルール」を策定、同内容を記載したパンフレットを作成し、会員並びに関係各位に配布した。
- ②平成21年9月17日に、第47回アミューズメントマシンショー会場（幕張メッセ）において、主催者セミナーの一環として、「知らなかったではすみません！アミューズメントマシンの適正処理・リサイクルのルール」と題したセミナーを実施した。

(4) 規制緩和に関する調査研究 (法務財務部会－規制緩和委員会)

J A I A 法務委員会の活動に協調して組織された法務財務部会の付置機関である規制緩和委員会（委員長：定野史郎）は、業界の立場だけでなく国民の生活や産業構造の変化さらには税収の拡大といった広い視野からの当業界に関わる規制のあり方について検討を行った。この検討結果を踏まえ平成21年度末、アミューズメント業界の規制緩和に関する要望を民主党執行部に陳情した。その内容は次の通り。

- ①保護者同伴による、18時以降の16歳未満の者の入場許可（条例緩和）
- ②18歳以上を対象とした深夜零時以降の許可（風適法による規制の緩和）
- ③リデンプション・マシン認可（風適法による規制の緩和）
- ④「前払い方式」「後払い方式」一括での電子マネー導入の認可

(5) 知的財産権確立支援 (調査情報部会-知的財産委員会)

国内特許・意匠等の登録出願の際に必要な上映証明、商標の使用証明等、証明書発行を行い、会員の知的財産権の確立に協力した。

2. アミューズメントマシン業界に関する技術開発・標準化事業

(1) 内外の技術基準等検討作業への協力 (技術部会)

国の依頼を受けて内外の技術基準等の検討作業を行う（社）日本電気協会の電気用品調査委員会及び電気用品部品・材料認証協議会に委員を派遣し、課題について技術部会（部会長：林隆）で検討し答申する等、国の基準改正作業に協力した。

(2) 課金端末等取付の標準化の検討 (技術部会)

将来の電子マネーシステムなども念頭に置き、アミューズメント機器に課金端末等を取り付ける際の利便性を図るため、技術部会の下部組織として「課金端末等標準化検討分科会」を設置し、取り付け用の配線、コネクタなどの標準化について検討を行った。その結果、平成21年8月21日付けで「課金などの情報収集端末の取付容易化ガイドライン」を制定した。

(3) アミューズメントマシンの安全確保に関する調査研究 (技術部会)

製品安全に関する重要性がますます高まっている中で、昨今発生した事故事例等も踏まえ、再発防止のため必要な措置について、技術部会（林隆部会長）の下部組織として「硬貨返却口安全対策分科会」（座長：小野良文理事）を設置し検討を進めた結果、「JAMMAアミューズメントマシンの安全確保ガイドライン」を補完する形で、「硬貨（コイン・メダル）返却口の安全性に関する指針」並びに「景品取り出し口の安全性に関する指針」を制定、会員各位に配布した。

また、すでにメーカーが存在しないためメーカーによる安全対策がなされないことのないアミューズメント機器の硬貨返却口に貼付してもらうため、（社）全日本アミューズメント施設営業者協会連合会（AOU）並びに日本SC遊園協会（NSA）を通じ、全国の傘下オペレーターに計1万6000枚の注意喚起シールを配布し、ユーザーへの注意喚起に努めた。

さらに、経済産業省の「平成21年度安全知識創造共同プロジェクト」に応募し、同省管轄の産業技術総合研究所と共同で、事故発生メカニズムの分析や再発防止のための技術について研究を行った。

(4) 省エネ型アミューズメントマシンの普及に関する調査研究 (技術部会)

地球環境問題への関心が高まる中、技術部会（部会長：林隆）において、アミューズメント機器における環境配慮設計の可能性について検討を行い、平成21年7月28日付けで「業務用アミューズメント機器に関するエコデザインガイドライン」を制定した。

3. アミューズメントマシン産業に関する情報の収集・提供及び展示会・講習会・研究会等の事業

(1) 協会案内誌の整備

(調査情報部会-広報委員会)

協会の公式案内誌として協会の理念、組織、事業活動、協会の歴史及び入会案内等を掲載している「JAMMAプロフィール」について、改訂を行った。

(2) アミューズメント産業に関する各種情報の収集及び提供

(調査情報部会)

協会が行政機関等から入手した資料のうち、会員企業の事業活動に役立つと思われるものについて郵送配布した。本年度配布した主な資料は次の通り。

- マルチコインリジエクター搭載の検討について (日本SC遊園協会)
- セーフティネット補償制度について (経済産業省)
- メンタルヘルス不調者等の労働者に対する相談促進事業の実施について
(労働者健康福祉機構)
- 下請け駆け込み寺事業のリーフレット (経済産業省)
- 中小企業を応援します！リーフレット (中小企業庁)
- 雇用調整助成金等の拡充及び離職者支援給付金の創設について (経済産業省)
- 平成22年度税制改正の大綱 (財務省)
- 消費生活用製品等による事故等に関する情報提供の要請について (経済産業省)
- 下請取引の適正化並びに下請事業者への配慮等について (経済産業省)
- 平成22年度税制改正の要綱の閣議決定について (経済産業省)
- 「消費生活用品のリコールハンドブック」 (経済産業省)
- 平成21年度「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」について (総務省)
- 「下請適正取引等の推進のためのガイドライン」について (経済産業省)
- 平成21年度経済産業政策の重点 (経済産業省)
- アミューズメント産業界の歩みと展望 (J A I A)
- 平成20年度アミューズメント産業界の実態調査報告書 (J A I A)
- 中小企業補助事業「ビジネス・マッチング・ステーション」の案内
(経済産業省)
- 消費生活用製品等による事故等に関する情報提供の要請 (経済産業省)
- メンタルヘルス対策の具体的推進について (厚生労働省)
- 新型インフルエンザ対策について (経済産業省)

(3) 中小企業緊急補償制度の業種指定 (調査情報部会)

景気の底這いやデフレの進行などによる日本経済の低迷に伴い、金融機関の貸し渋り、貸しはがし等、業界を取りまく金融環境が非常に厳しくなっていることから、昨年度に引き続き、経済産業省の「中小企業 景気対応緊急補償制度」の業種指定を継続するため、会員へのアンケート調査を行ったうえで申請を行った。

その結果、平成22年2月5日付でメーカー及びディストリビュータの2業種が指定業種として認定された。

(4) JAMMAジャーナル及びホームページによる情報発信 (調査情報部会-広報委員会)

協会広報誌として「JAMMAジャーナル」を発行して、会員及び関係官庁、内外の関係団体等に配布し、JAMMAの活動内容及びアミューズメント業界の現状を発信、周知理解を図った。平成21年4月、同年7月、同年11月、平成22年1月の計4回発行した。

JAMMAジャーナルは平成22年度から電子版のJAMMAジャーナルとしてリニューアルする予定。

また、業界活動を一般に広く周知理解を図るためJAMMAホームページによる情報発信を行った。ホームページでは、展示会開催状況、協会概要、協会活動状況、諸基準や実態調査データ等の情報の他、会員ホームページとのリンクを設け、業界外からの利用者に対しても利便を図っている。

なお、本ホームページは、更新頻度を増すことで閲覧者の便宜を図るとともに会員の業務内容の紹介ページを設け会員のビジネスのマッチングに配慮した。

(URL= <http://www.jamma.or.jp>)

(5) アミューズメントマシンショーの開催 (AMショー部会)

平成21年9月17日～19日の3日間、幕張メッセにおいて、全日本遊園施設協会との共同主催により第47回アミューズメントマシンショーを開催した。

主催協会の会員39社が616小間を出展し、会期3日間で30,192人来場者数得て盛大に開催することができた。

会期中の業者招待日には多彩なラインナップによる主催者セミナーを実施し、一般公開日には、屋台村や大道芸人のパフォーマンスでお客様にお楽しみ頂いたほか、チャリティバザーやチャリティーオークションを開催、売上金全額を慈善団体に寄贈した。

また、会期初日には、幕張メッセ会場に隣接したホテルニューオータニ幕張において「AMショー懇親パーティー」を開催し約400名が参加して盛大に行われた。

4. アミューズメントマシン産業に関する内外関係機関との交流事業

(1) 国内関係団体との交流

(法務・財務部会)

- (財)デジタルコンテンツ協会の諸事業活動において評議員として運営に協力した。
- 映倫管理委員会の呼びかけに応じた映像関連6団体による「映像倫理連絡会」に参加した。
- 経済産業省メディアコンテンツ課が提案した映像産業の倫理に関して意見交換を行う連絡会「映像コンテンツ倫理連絡会議」に参画し情報の交換を行った。
- (社)日本電気協会の電気用品調査委員会及び電気用品部品・材料認証協議会に委員を派遣し、課題については、技術部会(部会長:林隆)で検討し答申し、国の基準改正作業に協力した。
- 電気製品認証協議会の幹事会・広報専門部会の諸事業活動において委員として運営に協力した。
- JAMMA、JAIA、AOU、NSA、JAPEAの五団体が共同で、平成22年1月19日、グランドプリンスホテル赤坂において賀詞交歓会を開催、会員並びに業界関係者約300名の出席を得て盛大に開催された。

(2) 海外の業界団体との交流

(国際部会)

- 米国(AAMA、AMOA、IAAPA)、英国(BACTA)の他、韓国、香港及び台湾のアミューズメント業界団体との親善交流に向け、定期的な情報交換を行なうための具体案について検討した。
- 平成21年7月に中国文化部が主催して上海で開催された「第5回中国国際アニメ・ゲーム博覧会(Fantasy China 2009)」を後援し、中国における市場開拓に協力した。
- 平成21年9月に中国軟件行業協会の幹部の表敬訪問を受け、正副会長および国際部会長が対応して情報交換を行った。
- 平成21年11月に中国文化部が主催して中山市で開催された「2009中国国際ゲームと遊戯娯楽博覧会」に出席し、中国のAM機器の生産拠点である中山市の状況を視察したほか業界団体(中国軟件行業協会幹部)との情報交換を行った。

5. アミューズメントマシンに関する登録事業

(1) AM機械の表示マーク制度

(倫理部会-倫理審査委員会、倫理審査判定委員会)

AM機械の健全性をアピールするための表示マークの貼付について「健全化を阻害する機械基準」に基づいて実施した。

また、7号営業で使用された遊技機を8号メダルゲーム機に転用する際の規定が適切に運用されているかを確認するための機械実査を前年に引き続き実施した。

本基準に基づく本年度のメダルゲーム機の登録件数は270件で、表示マーク発行枚数は30,503。また、7号転用メダルゲーム機の登録件数は3,120件、表示マーク発行枚数は20,113枚であった。

登録件数の合計が3,390件(前年度1,885件)、表示マークの発行枚数は50,616枚(前年度40,849枚)となった。

(2) 「健全化を阻害する機械基準」の啓蒙活動

(倫理部会)

AMショーでの出展品検査への協力などを通して業界内外への機械基準の啓蒙活動を実施した。

6. 日本アミューズメント産業協会(JAIA)に係わる事業

(1) 「アミューズメントマシンに親しむゲームの日」のイベント開催

アミューズメント産業の文化性、先進性、健全性を広く一般社会にアピールを図るため、11月23日を「アミューズメントマシンに親しむゲームの日」と定め、この「ゲームの日」の前後に業界のPR、エンドユーザーへのアンケート、全国各地でのイベントの実施等の活動を行った。

(2) アミューズメント産業界の実態調査

アミューズメント産業界の実態について調査を行い、機械製造、流通販売、施設営業、ソフトの供給等の市場の実態を把握するとともに、アミューズメント産業、レジャー産業の調査研究を行い、「アミューズメント産業の歩みと展望」を発行した。

7. その他事業

アミューズメント業界の施設営業事業者と製造事業者とがともに手を携え業界共通の課題に取り組むため、また同時に事務局経費の軽減を図るため、社団法人全日本アミューズメント施設営業者協会連合会（AOU）と事務所拠点を同じくするための事務局の移転業務を実施した。

※JAMMA事務局とAOU事務局は共に、平成22年4月、東京都千代田区九段南3-8-11 飛栄九段ビル8Fに移転した。

8. 協会の事業及び経理監査

協会の事業及び経理について下記の通り2回に亘り監査が行われ、いずれも監査の結果、適正妥当であることが認められた。

第1回 実施日時： 平成21年4月15日（水）14：00～17：00

実施場所： JAMMA会議室

出席監事： 田坂吉朗監事、臼井清監事

監査内容： ①平成20年度収支決算
②第46回AMショー特別会計収支決算
③貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録

第2回 実施日時： 平成21年12月14日（月）14：00～17：00

実施場所： JAMMA会議室

出席監事： 田坂吉朗監事、臼井清監事

監査内容： ①平成21年度収支決算中間監査
(4月1日～11月30日)
②第47回AMショー特別会計の仮収支決算
(4月1日～11月30日)

9. 庶務的事項

(1) 通常総会

開催日時 平成21年5月27日（水）16：30～17：20

開催場所 ホテルオークラ「メイプルルームI」

議 題

- 第1号議案 平成20年度事業報告並びに決算報告及び収支差額処分案承認の件
第2号議案 平成21年度事業計画並びに収支予算案承認の件
第3号議案 定款第12条2項に基づく理事の選任の承認に関する件

(2) 臨時総会

開催日時 平成22年2月25日(木) 17:00~17:15

開催場所 JAMMA会議室

議 題

- 第1号議案 定款の変更に関する承認の件

(3) 理事会

第110回理事会

開催日時 平成21年4月23日(木) 16:00~17:30

開催場所 JAMMA会議室

議 題

- 第1号議案 会員の入会承認に関する件
第2号議案 平成20年度事業報告、決算報告、監査報告及び支差額処分案に関する件
第3号議案 平成21年度事業計画及び収支予算案に関する件
第4号議案 共同事務所の開設に関する件
第5号議案 役員候補に関する件
第6号議案 その他

第21回通常総会に関する件

報告事項

- ①風適法規制緩和要望書に係るJ A I A審議報告
- ②アミューズメントマシンの安全確保対策について
- ③電子マネーシステムの実証実験について
- ④日本アミューズメント産業協会20年度活動報告
- ⑤資金繰り支援制度について
- ⑥その他(年間スケジュール)

第111回理事会

開催日時 平成21年5月27日(水) 15:30~15:50

開催場所 ホテルオークラ「メイプルルームⅡ」

議 題 第1号議案 第21回通常総会に関する件

第2号議案 その他

報 告 事 項

①電子マネー実証実験の進捗について

②地球温暖化対策の中期目標の設定について

第112回理事会

開催日時 平成21年7月28日(火) 15:00~16:30

開催場所 JAMMA会議室

議 題

第1号議案 部会・委員会の担当選任に関する件

第2号議案 第47回アミューズメントマシンショー及び
今後の運営について

第3号議案 共同事務所の開設について

第4号議案 技術部会に関する件

(1) 業務用アミューズメント機器に関するエコデザインガイドライン

(2) 課金などの情報収集端末の取付容易化ガイドライン

第5号議案 3R部会に関する件(リサイクルガイドライン)

第6号議案 来年度通常総会の開催日程に関する件

第7号議案 その他

①NSAからの要請に関する件(マルチインジケターの搭載)

報 告 事 項

①電子マネーシステム実証実験について

第113回理事会

開催日時 平成21年12月17日(木) 15:30~17:00

開催場所 JAMMA会議室

議 題

第1号議案 平成22年度の重点事業計画(案)に関する件

第2号議案 規制の適正化に関わる要望書

第3号議案 電子マネーシステム実証実験に関する件

第4号議案 技術部会に関する件

第5号議案 国際部会に関する件

第6号議案 景品営業ガイドラインに関する件

第7号議案 共同事務所に関する件

- 第8号議案 事務所拡張準備金の取り崩しに関する件
- 第9号議案 次回ショー運営委員長の選任に関する件
- 第10号議案 会員の入会承認に関する件
- 第11号議案 定款変更に伴う臨時総会の開催に関する件
- 第12号議案 その他

- 報告事項
- ①年間スケジュールについて
 - ②平成22年度新春賀詞交歓会について
 - ③経済産業省の平成21年度補正予算について

第114回理事会

開催日時 平成21年2月25日(木) 15:30~16:30

開催場所 JAMMA会議室

議 題

- 第1号議案 平成22年度の事業計画(案)に関する件
- 第2号議案 平成22年度の収支予算(案)に関する件
- 第3号議案 事務所移転に伴う定款の変更に関する件
- 第4号議案 その他
 - ①次期役員の選出方法に関する件

- 報告事項
- ①景気対策緊急保証の業種指定について
 - ②共同事務所開設の進捗状況について
 - ③JAMMAジャーナルの電子化について
 - ④平成22年度経済産業省関連予算案の概要について

文書理事会

開催期日 平成21年10月29日(木)~11月5日(木)

議 案 硬貨返却口用の「注意喚起シール」の配布に関する件

(3) 部会・委員会

今年度の部会委員会の開催状況は次の通り。

法務財務部会(部会長:里見治)

【附置機関】

予算委員会(委員長:林隆)

1. 第13回 平成22年 2月15日

ITネットワーク特別委員会(委員長:木村雅三)

J A I A技術委員会との合同会議

1. 第11回 平成21年 5月20日

2. 第12回 平成21年 7月22日
3. 第13回 平成21年 9月24日
4. 第14回 平成21年11月25日
5. 第15回 平成22年 1月19日

電子マネーシステム実証実験WG（座長：西田孝史）

1. 第9回 平成21年 5月13日
2. 第10回 平成21年 7月10日
3. 第11回 平成21年 9月10日
4. 第12回 平成21年10月 7日
5. 第13回 平成21年10月26日
6. 第14回 平成21年11月20日
7. 第15回 平成22年 1月 7日

調査情報部会（部会長：阪口一芳）

【附置機関】

広報委員会（委員長：上田晃一郎）

1. 第47回 平成21年 7月23日
2. 第48回 平成21年 9月16日
3. 第49回 平成21年11月10日

倫理部会（部会長：石村繁一）

1. 書面審議 平成22年 2月15日

【附置機関】

倫理審査委員会（委員長：照井慎一、加々見章）

1. 第282回 平成21年 4月 8日
2. 第283回 平成21年 4月17日
3. 第284回 平成21年 5月29日
4. 第285回 平成21年 6月 1日
5. 第286回 平成21年 6月22日
6. 第287回 平成21年 6月22日
7. 第288回 平成21年 7月 8日
8. 第289回 平成21年 7月 8日
9. 第290回 平成21年 8月24日

10. 第291回 平成21年 9月10日
11. 第292回 平成21年 9月10日
12. 第293回 平成21年 9月24日
13. 第294回 平成21年 9月14日
14. 第295回 平成21年 9月19日
15. 第296回 平成21年 9月19日
16. 第297回 平成21年11月20日
17. 第298回 平成21年11月27日
18. 第299回 平成21年12月11日
19. 第300回 平成22年 1月25日
20. 第301回 平成22年 1月25日
21. 第302回 平成22年 2月 1日
22. 第303回 平成22年 2月 1日
23. 第304回 平成22年 2月10日
24. 第305回 平成22年 2月10日
25. 第306回 平成22年 2月24日
26. 第307回 平成22年 3月 5日
27. 第308回 平成22年 3月 5日
28. 第309回 平成22年 3月26日
29. 第310回 平成22年 3月26日
30. 第311回 平成22年 3月30日

技術部会（部会長：林隆）

1. 第27回 平成21年 4月 8日
2. 第28回 平成21年 6月24日
3. 第29回 平成21年10月 8日
4. 第30回 平成21年12月 9日

【附置機関】

課金端末等取付標準化分科会（座長：林隆）

1. 第5回 平成21年 4月22日

硬貨返却口安全対策分科会（座長：小野良文）

1. 第1回 平成21年 5月21日
2. 第2回 平成21年 6月 4日
3. 第3回 平成21年 7月 2日

4. 第4回 平成21年 7月22日
5. 第5回 平成21年 8月 6日
6. 第6回 平成21年 8月26日
7. 第7回 平成21年 9月 9日
8. 第8回 平成21年10月29日
9. 第9回 平成21年11月27日

AMプライズ部会（部会長：佐藤隼夫）

1. 第17回 平成21年 5月18日
2. 第18回 平成21年10月 2日
3. 第19回 平成22年 2月23日

JAMMA AMプライズ部会－AOU健全営業推進委員会合同会議

1. 平成21年10月 2日

国際部会（部会長：猪狩茂、神宮司憲人）

1. 第5回 平成21年10月27日
2. 第6回 平成22年 1月20日

JAMMA－中国CGIA幹部懇談会）

1. 平成21年 9月17日

中国国際遊戯娯楽博覧会（中国中山市）視察

1. 平成21年11月 4日－6日

3R部会（部会長：内田慎一）

1. 第5回 平成21年 4月23日
2. 第6回 平成21年 6月16日
3. 第7回 平成22年 2月10日
4. 第8回 平成22年 3月17日

第47回アミューズメントマシンショー委員会（委員長：里見治）

1. 第1回 平成21年 2月26日
2. 第2回 平成21年12月17日

【附置機関】

シヨ一運営委員会（委員長：林隆）

1. 第1回 平成21年 2月 4日
2. 第2回 平成21年 3月18日
3. 第3回 平成21年 4月28日
4. 第4回 平成21年 6月18日
5. 第5回 平成21年 8月25日
6. 第6回 平成21年 9月16日
7. 第7回 平成21年10月23日

【附置機関】

説明会・小間位置決定会

1. 第1回 平成21年 7月 3日

出展品書類審査会

1. 第1回 平成21年 9月 8日

小間位置検討分科会

1. 第1回 平成21年 6月10日

主催者事業担当分科会（座長：小島理一）

1. 第1回 平成21年 4月16日
2. 第2回 平成21年 6月26日
3. 第3回 平成21年 7月30日

安全担当分科会（座長：小野良文）

1. 第1回 平成21年 8月 7日

宣伝担当分科会（座長：竹内真司）

1. 第1回 平成21年 2月 4日
2. 第2回 平成21年 3月18日
3. 第3回 平成21年 4月28日
4. 第4回 平成21年 6月25日

広報委員会（委員長：上田晃一郎）

1. 第1回 平成21年 7月23日
2. 第2回 平成21年 9月16日
3. 第3回 平成21年11月12日

(4) 会員の異動

	期首会員数	入会数	退会数	期末会員数
正会員	64	1	4	61
賛助会員	21	1	2	20

入会会員名

正会員

1. 株式会社 明日華

賛助会員

1. 株式会社 オーシャンエンタープライズ

退会会員名

正会員

1. 有限会社 オーガス
2. 株式会社 AMI
3. 株式会社 ハッスル
4. 有限会社 ナンキトレイディング

賛助会員

1. 東映通信工業 株式会社
2. 富士電機リテイルシステムズ 株式会社